

## 集団討論編

### 1 集団討論における評価の観点と採点の基準

集団討論において試験官は何を見て評価をしているのでしょうか？

都立高校が示している「評価の観点」を総合的に分析すると、多くの高校が集団討論で以下の諸点を見ていることがわかります。

#### ◎ コミュニケーション能力

→ 他者の意見を客観的に聴き正確に理解し、それを基に自分の意見を相手に正確に伝える力

#### ◎ 思考力・判断力・表現力

→ テーマの内容を的確に理解し、論理的な考えに基づき、わかりやすく説明する力

#### ◎ 協調性・積極性・リーダーシップ

→ 他者と協力し、様々な考えを受け入れながら、討論をまとめ、発展させていく力

集団討論においては、これらの観点を満たした受検者が「推薦入試で選抜したい受検者」ともいえます。

様々な観点があるわけですが、これらを踏まえると、集団討論試験の採点基準としては、大きく**2つのポイント**に絞ることができます。

- ・ 受検者が集団の中で、複数の人間と関わる際にどのような態度や振る舞いができるのか
- ・ 自分なりの意見や考えをしっかりと持ち、それを周囲の意見と調整しながら説得的に述べられるか

つまり、協調性、社会性、バランス感覚、リーダーシップ、傾聴力、表現力、貢献度などが大切な要素です。

面接試験とは別に、集団討論を行うことの意味は、**面接試験では評価、確認しにくい面を評価するため**なのです。

集団討論で必要とされる能力は以下5つが挙げられます。

- ・ 仲間とうまくコミュニケーションがとれるか
- ・ 自分の意見を主張し、議論を引っ張ることができるか
- ・ 課題の解決に対してどれほど貢献できるか
- ・ 他人の意見に耳を傾けて議論を進めることができるか
- ・ 全体に配慮した発言や行動ができるか